

米国大統領バイデンの訪韓・訪日とクアッド首脳会合に反対する国際共同声明

2022年5月19日

米大統領バイデンが5月20日から22日に韓国を、5月22日から24日に日本を訪問する。彼の両国滞在中には韓米首脳会談、日米首脳会談が開催される。さらに、5月24日には東京で、米国、日本、オーストラリア、インドの四カ国によるクアッド（日米豪印戦略対話）首脳会談が開催される。

私たちアジア太平洋地域の民衆は、この地域における米日帝国主義の支配の強化を目的としたバイデンの訪韓・訪日およびクアッド首脳会合に断固反対する。それは、東アジアおよびアジア太平洋地域の政治的・軍事的緊張を高めるものであり、この地域の民衆にさらなる抑圧をもたらすものである。

バイデンのアジア訪問およびクアッド首脳会合の主要な目的は、「自由で開かれたインド太平洋」（FOIP）戦略の下で、中国への政治的・軍事的な包囲を強化することにある。訪韓・訪日に先立ち、バイデンはASEAN諸国の首脳をワシントンに招待して特別首脳会合を開催したが、これもまた同様の目的に貫かれたものである。

米日帝国主義は今日、「中国の脅威」を排外主義的に喧伝することで、東アジアおよびアジア太平洋地域における自らの軍事態勢の増強を正当化しようとしている。しかし、この地域における政治的・軍事的緊張の高まりをもたらしている主要因は、地域支配を維持しようとする米日帝国主義の策動にある。

バイデンと韓国の新大統領・尹錫悦（ユン・ソギョル）との首脳会談は、韓米合同軍事演習の強化や韓国・ソソン里でのTHAAD正式配備を進めるものとなる。それは、朝鮮半島をめぐる軍事緊張の激化をもたらすものである。

日米首脳会談において、バイデンと日本の首相・岸田は、「台湾海峡有事」を想定した日米共同作戦計画の策定など両国の実戦的な軍事一体化を進めようとしている。日本帝国主義はまた、いわゆる「敵基地攻撃能力」保有策動など独自の軍事態勢強化と憲法改悪を進めようとしている。

同時に、今回の韓米・日米首脳会談を通して、米国、韓国、日本の三カ国の軍事的連携の強化が狙われている。私たちはこれに断固として反対する。

米日帝国主義はさらに、クアッドあるいはクアッド・プラスを通して、アジア太平洋地域の経済的・政治的支配の強化を進めようとしている。のみならず、「アジア版NATO」の形成に向けた動きを強め、地域の緊張を拡大させている。私たちは帝国主義の搾取・収奪に抵抗すると同時に、この地域における米国主導の軍事同盟・多国間軍事協力の強化に断固として反対する。

私たちは、米大統領バイデンの訪韓・訪日とクアッド首脳会合に対する両国の民衆の抗議行動を支持する。私たちは帝国主義の支配からの解放をめざして共に闘う。アジア太平洋地域の民衆は、米日帝国主義の搾取と収奪、軍事支配と戦争策動に反対し、団結して闘う。

署名：

アジア共同行動（AWC）日本連絡会議

AWC韓国委員会

フィリピン新民族主義者同盟（BAYAN）

中国台湾労働人権協会

ミグランテ日本支部